

《社会奉仕委員会》 張ヶ谷政喜委員長

今年度社会奉仕委員会のメンバーは、永尾太樹F、根本孝英F、牟田浩幸F、私、張ヶ谷の4名です。

早速ですが、ロータリーの目的に「ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること」とあります。また、ロータリーの第一の標語に「超我の奉仕」とあります。

私たちが事業生活、個人の生活を送る上で社会との繋がりは切れないものです。ただそれは社会との繋がりを切らないという事ではなく、お一人お一人がどう奉仕できるのか、その場その場での奉仕とは何なのかを追求していく事が「超我の奉仕」につながり、意識の向上にもつながるのではないかと考えています。



ここで柏ロータリークラブの奉仕活動の歴史を少し振り返ってみました。

昭和43年 交通安全小旗 柏市寄贈

昭和47年 ブロンズ像 柏市文化会館寄贈

昭和48年 案内板 柏市寄贈

昭和50年 100万円 柏市寄贈

昭和52年 絵画日展入賞作 柏市保健センター寄贈

また、平成7年～平成11年

柏RCが中心となって当時第10分区の5クラブが市内16団体と実行委員会を立ち上げて手賀沼マラソンの前日に手賀沼浄化を市民に呼びかける活動

柏RC創立50年記念事業 松ヶ崎城跡地に河津桜と広葉樹の植樹

2018年には寺嶋ガバナー就任記念事業として、柏ふるさと公園に記念樹の植栽と健康遊具の設置を行いました。

そして創立60周年記念事業では、松ヶ崎城跡地再整備事業として河津桜の植樹と園路沿いに約3000株のリウウヒゲを植栽して、歩道の整備を実施しました。

その他公開講演会の開催の実施 各テーマとしては

「虐待児ゼロを目指して」「こどもの言葉に心を探る」「海洋冒険家による講演会」などの公開講演会の開催をさせていただきました。

今年度は昨年に引き続きまして

- ・献血運動への参加 年2回
- ・ゴミゼロ運動への参加協力
- ・毎年行っている寄付の実行
- ・他団体との連携による社会奉仕活動 などを実施して参ります。

さらに、渡辺会長よりご用命があれば、それに従ってなにがしかの事業活動も実施する所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

《国際奉仕委員会》 今山利猛委員長



2022年8月15日の終戦記念日、「2013年ぶりにポリオウイルス感染者がニューヨークで見つかった」とTBSニュースで見ました。

米ニューヨーク州保健当局は「2022年8月12日、ニューヨーク市の下水からポリオ（小児まひ）のウイルスが検出され、ウイルスが市内で拡散している可能性を示唆していると発表し、ワクチン未接種者に対しワクチンを接種するよう呼びかけた。」とも有りました。

ロータリークラブの最重要課題目標の「ポリオ撲滅」

現在の国際ロータリーのホームページには「今日、ポリオがまだ存在する国（常在国）はアフガニスタンとパキスタンのみとなっていますが、その他の国々でもポリオのない状態を維持していく必要があります。ポリオ根絶活動を今やめてしまうと、10年間のうちに、毎年ポリオによって身体まひとなる子どもが20万人になると予測されています」と記載されています。

また、ロシアによるウクライナ侵攻、2019年から続く新型コロナウイルスの世界中まん延、中々国際奉仕委員会の活動として、現在これらの役に立つ事の活動は難しい様に思われますが、私自身も「出来ることから・たとえ小さな事でも」を念頭に、ロータリーを通しての、ウクライナへの寄付や、ポリオ撲滅を再認識する等、日々これらを忘れずに行動することから、改めて始めようと考えております。皆様のご協力もどうぞよろしくお願い致します。

《ロータリー財団委員会》 花島和宏委員長

ロータリー財団への寄付は、年次基金寄付、恒久基金寄付、使途指名寄付とありますが、毎年皆様から多大なるご寄付をいただいております。

本年度も引き続き、お声がけをさせていただき、ご寄付をお願いさせていただきますので、ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。

2790地区の財団資金管理・寄付推進委員長 堀内正人氏に卓話をお願いする予定でおります。ご寄付いただいた資金がどのように使われているのかをご理解いただければと考えております。



《米山記念奨学委員会》 川村由里子委員長



柏ロータリークラブ奨学生、アイちゃん(アイマルさん)の奨学生の期間も9月末までとなり、私自身もカウンセラーの任務終了が近づいています。もしかすると柏RC最長かもしれない2年6か月という期間でしたが、コロナで始まり現在もWITHコロナ、という残念な部分もあります。そのような状況でも、大学での研究に打ち込みつつ、米山奨学生としての責任感や自覚をしっかり持っていたアイちゃんいつも立派だなあ、と感心していました。

長いようであつという間の2年半でしたが、何よりも大きかったのは、「クラブ支援奨学金」という少し特別な種類の制度を利用して、6か月延長できたことです。はじめに、アイちゃんから卒業の時期が遅れそうでどうなるかと相談を受けた時、延長することは簡単ではないだろうと思っていたのですが、当時の委員長であった中山Fがすぐに動いて下さり、無事に6か月延長の申請が通りました。その節は、クラブの会員皆さまのご理解、ご了承をいただき大変助かりました。心よりお礼申し上げます。さて、まもなく終了が近づき寂しい限りなのですが、実はアイちゃんは就職するのは来年4月なのです。そして就職するまでの期間は、忙しかった研究から離れて若干余裕がありそうです。アイちゃんが就職するまでのあと半年も、引き続いてクラブと懇親を深めたり、活動に参加できる機会があれば大変嬉しく思います。少しでも柏RCの会員の皆様と良い思い出を作り、充実した期間を経て、新社会人に踏み出してもらいたいです。例えば、引き続いて例会に参加したり、さらにはアイちゃんの希望でもある、奉仕活動に参加できる機会もあればお誘いしてみようと思っています。

先日参加した委員長セミナーの内容なのですが、奨学生の自己紹介の際に、コロナ感染拡大の影響でアルバイト代が大幅に減って、奨学金制度に本当に助けられた。そのおかげで安心して勉強を続けられたということを多くの奨学生が語っておられました。そのような金銭的な支援の面と、合わせて平和が脅かされる時代において、将来世界で活躍できる人材を支援できる意味で、この奨学金事業の意義をあらためて実感した次第です。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

《青少年奉仕委員会》 板津 守委員長



今年度の青少年奉仕委員会の委員長を拝命しました板津守です。青少年奉仕委員会のメンバーは、長谷川秀夫F、松丸隆一F、伊藤公一F、丸山高志Fです。一年間宜しく願います。

青少年奉仕委員会は勝田会長年度、高田会長年度では、お弁当プロジェクトを2年続けて行い、今年度はTRF地区補助金を利用して、生活困窮世帯の小中学生文房具・体操服支援を行なっております。

食・食・衣(文)となりましたが、次世代への奉仕である青少年奉仕事業が継続することが、今のロータリーの奉仕方針に沿ったものになっているかと思えます。会員の皆様には、支援品に添えるメッセージカードの作成ご協力ありがとうございます。

コロナ感染状況の影響により、例会場でのメッセージカードの作成が一度しかできず、例会欠席者には郵送にて対応させていただきましたが、必要枚数を作成することができました。本当にありがとうございました。お礼申し上げます。

本日、2022年8月31日に柏市社会福祉協議会において、渡辺敏行会長、島田秀貴幹事とともに贈呈式を無事に済ませてきましたので、今後は必要とする子供たちに、必要とする都度渡っていく状態となっております。2学期の開始に間に合うことができ、少しでも「切ない。」思いをする子供たちが減るように願っております。

柏市社会福祉協議会も今回のモデル事業によって、関係各所との生活困窮者の文具・体操服支援のフローが出来たので来年度以降、柏市などと協力して継続していける様に検討しているとのことですので、皆様のご協力の良い奉仕事業になっていると思っております。

事業の実施にあたって、高田F、畔高F、丸山Fには体操服、文房具の準備ありがとうございました。年度の初めに奉仕事業終了した感がありますが、今後の状況推移を見ながら必要な支援や奉仕事業など検討していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

《職業奉仕委員会》 常井典夫委員長

本年度、職業奉仕委員長の常井典夫です。須藤英華F・杉原浩F・川和利行Fと一緒に努めさせていただきます。委員会の活動としては、中々具体性に欠ける職業奉仕委員会ですが、概念的には非常に大きな意味を持つと思えます。ここでひとつ職業奉仕に関する話題をお話したいと思います。

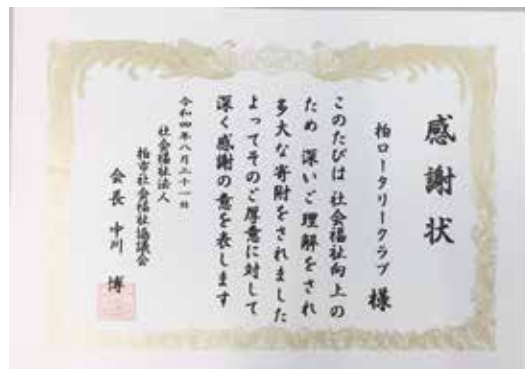
私が入会してから間もない頃、柏ロータリークラブでは児童虐待に関する講演会を主催しました。クラブの社会奉仕活動に感心して、喜んでおりました。しかし、その後の活動が続きません。クラブを続けて行く意味に疑問を持ち始めた訳です。そんな時、クラブの皆さんとの集まりがあり、奉仕活動をもっと継続的に続けなくて良いのか？との話になりました。

その時、寺嶋Fがおっしゃいました。「私たちの事業を継続していると言う事は、社会へのサービスが受け入れられてる事を意味する。奉仕としての意味を持たなければ継続できない筈だ。事業を継続させる事自体が社会奉仕としての意味を持つのではないか！」と言う話を聞きました。

ロータリークラブ特有の職業奉仕の概念と、4つのテストの理念を毎日繰り返す仕事の判断の中で持ち続ける事がロータリアンの資質の向上に繋がる事だと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。



《小・中学校用品援助プロジェクト贈呈式》



2022年8月31日(水) 柏市社会福祉協議会にて、渡辺会長・島田幹事・板津青少年奉仕委員長より柏市社会福祉協議会の中川会長へ贈呈式を行いました。

順次、皆さんが書いてくださったメッセージカードと一緒に、必要とする子供たち元へ届けてくださいます。



ZOOM風景



ZOOM風景



ZOOM風景



ZOOM風景

《編集後記》 コロナも少しだけですが減少し、来週からは Crest Hotel と ZOOM 併用のハイブリッド例会になります。きちんと感染対策をしながら、例会を楽しみたいです。(藤川 崇)

例会日: 水曜日 12:30~13:30

例会場: ザ・ Crest Hotel 柏

柏市末広町14-1

TEL 04-7146-1111(代)



< 会報担当 >

委員長	井上英博	中島康子	杉原浩
委員	坂本博	中島有紀子	関学
	藤川崇	山下和則	岡本雅子